

座標空間において、立方体 OABC-DEFG の頂点を

$$\begin{aligned}O(0, 0, 0), A(3, 0, 0), B(3, 3, 0), C(0, 3, 0), \\D(0, 0, 3), E(3, 0, 3), F(3, 3, 3), G(0, 3, 3)\end{aligned}$$

とし、OD を 2 : 1 に内分する点を K, OA を 1 : 2 に内分する点を L とする。BF 上の点 M, FG 上の点 N および K, L の 4 点は同一平面上にあり、四角形 KLMN は平行四辺形であるとする。

(1) 四角形 KLMN の面積をもとめよう。ベクトル \vec{LK} を成分で表わすと

$$\vec{LK} = (\boxed{\text{アイ}}, \boxed{\text{ウ}}, \boxed{\text{エ}})$$

となり、四角形 KLMN が平行四辺形であることより、 $\vec{LK} = \boxed{\text{オ}}$ である。

$\boxed{\text{オ}}$ にあてはまるものを、次の①～③のうちから一つ選べ。

- ① \vec{ML} ② \vec{LM} ③ \vec{NM} ④ \vec{MN}

ここで、 $M(3, 3, s)$, $N(t, 3, 3)$ と表わすと、 $\vec{LK} = \boxed{\text{オ}}$ であるので、 $s =$

$\boxed{\text{カ}}, t = \boxed{\text{キ}}$ となり、N は FG を 1 : $\boxed{\text{ク}}$ に内分することが分かる。

また、 \vec{LK} と \vec{LM} について

$$\vec{LK} \cdot \vec{LM} = \boxed{\text{ケ}}, |\vec{LK}| = \sqrt{\boxed{\text{コ}}}, |\vec{LM}| = \sqrt{\boxed{\text{サシ}}}$$

となるので、四角形 KLMN の面積は $\sqrt{\boxed{\text{スセ}}}$ である。 [次のページに続く]

- (2) 四角形 KLMN を含む平面を α とし, 点 O を通り平面 α と垂直に交わる直線を ℓ , α と ℓ の交点を P とする。 $|\overrightarrow{OP}|$ と三角錐 OLMN の体積を求めよう。

$P(p, q, r)$ とおくと, \overrightarrow{OP} は \overrightarrow{LK} および \overrightarrow{LM} と垂直であるから, $\overrightarrow{OP} \cdot \overrightarrow{LK} = \overrightarrow{OP} \cdot \overrightarrow{LM} =$

$\boxed{\text{ソ}}$ となるので, $p = \boxed{\text{タ}}r, q = \frac{\boxed{\text{チツ}}}{\boxed{\text{テ}}}r$ であることがわかる。 \overrightarrow{OP} と \overrightarrow{PL}

が垂直であることにより $r = \frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{ナニ}}}$ となり, $|\overrightarrow{OP}|$ を求めると

$$|\overrightarrow{OP}| = \frac{\boxed{\text{ヌ}}}{\boxed{\text{ハヒ}}} \sqrt{\boxed{\text{ネノ}}}$$

である。 $|\overrightarrow{OP}|$ は三角形 LMN を底面とする三角錐 OLMN の高さであるから, 三角錐 OLMN の体積は $\boxed{\text{フ}}$ である。

[13 センター試験]